



TOYAMA PREFECTURAL REPORT

県広報

かあ

1993
No.290

3



料理の祭典に富山がチャレンジ

'96世界料理オリンピック日本代表チーム団長 小西謙造さん

「参加するからには、やはり良い成績を残したいですね。」と、全日本司厨士協会富山県本部理事長の小西謙造さん。四年後にドイツのフランクフルトで開催される世界料理オリンピックに日本代表チームの団長として出場します。

四年に一度開催されるこの料理の祭典では、世界三十カ国以上の一流の料理人が一堂に会し、芸術的センスを生かした西洋料理で腕を競い合います。料理人にとっては憧れの舞台であり、そこでは料理の味や盛りつけ、さらには作業手順に至るまで厳しい審査の目が注がれます。

「日本各地から参加がある中で、私が率いるチームは若手を中心とした布陣で臨みます。本場ヨーロッパに負けないだけの技術は持っており、その点で不安はありません。よく通る声に自信のほどがうかがわれます。小西さんは、昨年十月に行われた'92料理五輪の視察のためドイツを訪問。資料ではわからない大会の雰囲気を感じとってきました。「審査基準や大会の運営方法を視察し傾向と対策をたてたり、外国の方とのコミュニケーションを通して各国の料理に対する考えを学んだり大変有意義なものとなりました。」と当時を振り返ります。

四年後の大会に選ばれる料理人は、腕をみがぐため、長期間にわたる合宿などで拘束されます。そのため、事業主や雇用主に理解と協力を求めたり、資金面での支援を企業等に対して呼び掛ける必要も生じてくるそうです。料理人の腕の向上を目指し、また料理の世界を広くPRするため、小西さんの奮闘は続きます。

「料理は、時代のニーズとともに移り変わります。その流れをうまくつかむことを念頭に置きながら、料理五輪では日本人が持つ繊細さを、配色や盛り付けを通して表現できればと思っています。」大会までの四年間の過程で、どのようなすてきな料理が生み出されるのかとても楽しみです。



'92料理五輪でドイツのクックさんと

ESSAY



越中国庁跡



越中万葉の春と池主

郷土史家 廣瀬 誠

天平十八年（七四六年）大伴家持が国守として越中へ赴任したとき、何よりも心強かったのは、同族の大伴池主が掾（現在なら県庁の総務部長にあたる）として在任していたことであつたらう。池主は歌人でもあつた。同族、同趣味、しかも、ともに單身赴任の二人は肝胆相照らした。

翌年二月、家持が病臥して「死ぬかもしれぬ」と弱音を吐いたとき、池主は歌を作つて国守を慰め励ました。いくたびか歌の贈答を繰り返すうちに、やがて家持の病は回復した。

二人は和歌だけでなく、漢詩も贈答したが、これこそ最初の越中漢詩である。池主は漢文学の造詣が深く、家持もその影響を受けた。また万葉集には蝶を歌つた和歌は一首もないが、池主は漢文で「紅桃灼々、戯蝶花ヲ廻リテ舞フ」と書いた。桃花の美を歌つた点でも、家持より池主が先であつた。桃と蝶、雪国越中の春を飾る華麗な万葉文学である。

「まがひに死ぬべき思へば」と歌つたが、落花に取り合わせて死を美化したのは、日本思想史上、家持が最初であろう。あらゆる意味で注目すべき二人の作品群であつた。

その年の四月、家持は立山の長歌を作り、池主がこれに唱和した。家持は大歌人で池主は二流歌人であるが、両者の立山長歌を比べてみると、家持の作は概括的で、具体性を欠く。池主の作は「朝日さすとき逆光線にけむらひ、白雲を幾重にもおし分けて天にそそり立つ山容」「峻嶮崇高な岩山の悠久感」「峰高く谷深く、激落する川から雲霧立つ生々躍動の山気」等、言葉をたたみかけ、情熱をこめて力強く歌っている。立山長歌に関するかぎり、家持作よりも池主作が見事だ。

家持も池主も、地方での務めを終え、都へ復帰したが、やがて橘奈良麻呂のクーデター未遂事件に連座して池主は捕われ、歴史から消えていく。おそらく刑死したのであろう。家持はきわどいところで難を免れたが、この事件後、大伴一族は急速に没落していく。

親友池主の末路、そして自分が生き残つたことを、家持は終生、心の重荷としたことであろう。越中万葉をさまざまに彩つた異色の人物として、私は、あらためて大伴池主の存在を思い、深く追慕憶念するものである。



心身ともにリフレッシュ!

第1回富山県民スポーツ・レクリエーション祭冬季大会「雪のシンフォニー」●開催

雪とのふれ合いを通して、冬季の健康・体力づくりはもちろん、明るいコミュニケーションづくりにも役立てよう、と、第一回富山県民スポーツ・レクリエーション祭冬季大会「雪のシンフォニー」が一月三十一日、滑川市総合体育センター周辺広場において開催されました。

この日は、子どもからお年寄りまで約三千人が参加。暖冬の影響で積雪がなく、プログラムを一部変更しての実施となりました。

寺家・田中両小学校によるプラスバンド演奏や上小泉いずみ太鼓のオープニングパフォーマンスの後、開会宣言が行われ、続くストレッチ体操で体をほぐした参加者は、元氣よく各広場に分散して、様々な競技に挑戦し心地よい汗を流しました。

スポーツ広場では、「お父さんしっかり」「転んだらダメやぞー」の温かい声援が飛び交うなか、風船割り、飲食レース、親子縄跳びリレーなどで熱戦を展開。また、踊りの広場では、大勢で3B体操や日本民謡を踊り交流を深めました。他の会場でもゲートボール、ターゲット、ひかりのまちウォークラリーなどの競技が行われ、参加者は上気した顔を輝かせながら、冬の一日を大いに楽しんでいました。



新しい富山を創造するスポーツの祭典をめざして

第5回2000年国体等懇話会

一月二十六日、県民会館において、第五回二〇〇〇年国体等懇話会が開かれ、今回、報告書が金岡座長から知事に提出されました。

この報告書は、西暦二〇〇〇年(平成十二年)の国体や平成六年度の高校総体が本県で開催されるにあたり、富山らしい大会のビジョンを提言しようと、十三名の委員により、昨年二月から五回にわたる意見交換を通してまとめられました。

報告書の内容としては、「新しい暮らしづくりの契機」「富山らしさの発信」「新しい地域づくりの契機」が意義として、また「富山らしい感動あふれる祭典」「心に残る交流豊かな祭典」「日本一のスポーツ県をめざす祭典」「活力ある地域づくりを進める祭典」がビジョンとしてあげられています。

県では、今後この提言が国体の開催準備の中で事業として反映されるよう具体的なプランづくりに取り組むこととしています。





富山県花卉生産者協会
花の大和展

春を呼ぶ、色とりどりの花の競演

第3回花と緑の冬のフェスティバル



▲ブーケショウ

▲押し花教室

花と緑に親しむ冬場最大のイベント「第3回花と緑の冬のフェスティバル」が、二月十三日から十五日、富山県民会館で開催され、冬の彩りを求めた大勢の人々にぎわいました。

「あなたの冬は咲きますか」をキャッチフレーズに、会場内には、色鮮やかな常夏のハワイの花や世界各国の珍しいスイセンなど約一万五千本の切り花と三千五百鉢の花鉢が展示され、甘い春の香りを漂わせていました。また今年、県内高等学校農業科の花づくりの紹介、井口村の椿のコーナー、押し花作品の展示などの新しい企画も加わり、園芸愛好家の人気を集めていました。

この他、期間中には、講演会や押し花教室、ブーケショウ、フラワーアレンジメントの実演なども行われ、訪れた人々は、会場いっぱいに展示された美しい花と緑に心をなごませていました。

省資源・省エネルギー運動富山県民大会

主催 富山県 省資源・省エネルギー運動富山県推進会議、あすの富山県を創る協議会

活動発表

高岡万葉生活学校
高岡消費生活者
グループ連絡会
井波高等学校
魚津市連合婦人会



「地球にやさしい暮らし方」
ゆとり・安心・簡素なライフスタイル
国民生活センター
理事 青山 三千子

キーワードは、“地球にやさしく”

省資源・省エネルギー運動富山県民大会●開催



二月四日、平成四年度省資源・省エネルギー運動富山県民大会が、富山市のマリエとやま七階のオルビスで開かれました。

開会挨拶に引き続き表彰式が行われ、リサイクルなどを通し、省資源・省エネルギーの推進に尽力した魚津市立西部中学校生徒会など五団体が優良団体として表彰されました。

その後、高岡万葉生活学校など四団体が活動発表を行いました。県立井波高等学校家庭クラブの活動発表では、「布でつなぐ、ハートフルリサイクル」と題して、家庭の片隅で忘れ去られている「あまりきれ」を活用しての実践活動が詳しく紹介されました。工夫を凝らした布製遊具や大きなパッチワーク作品なども披露され、会場内は歓声とため息が入り交じっていました。

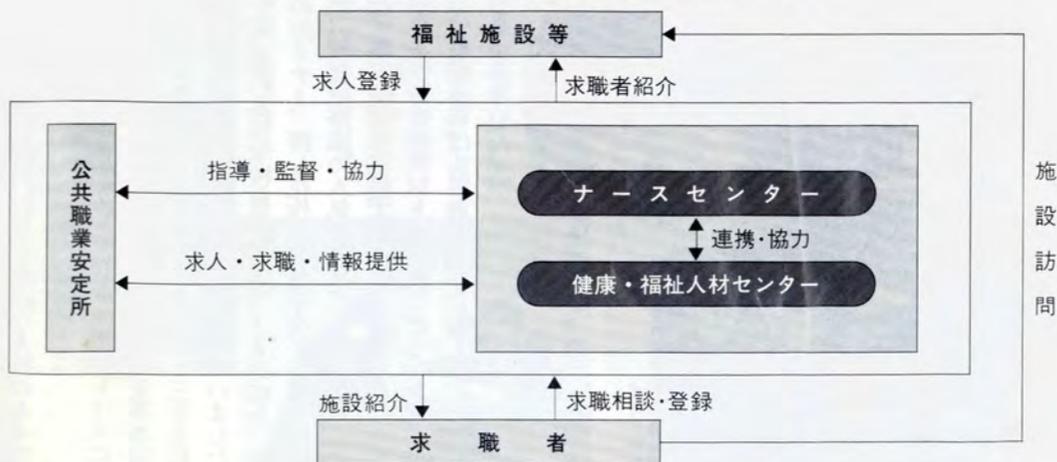
また、最後に大会を締めくくって、国民生活センター理事の青山さんが「地球にやさしい暮らし方」と題して講演を行い、つめかけた約二百名余りの参加者の共感を呼んでいました。

健康・福祉を支える マンパワー対策



富山県では、出生率が全国低位で推移していることや、若者の県外流出などから、全国平均を上回る早さで、高齢化が進んでいます。このため、健康・福祉に対するニーズは増加・多様化し、より質の高いサービスの提供が求められています。こうした現実に対応するために、看護職員をはじめとした健康・福祉の専門職に携わるマンパワーを確保・養成し、資質の向上を図ることが、緊急かつ重要な課題となっています。生涯を通じて、心身ともに健康で不安のない明るい生活を送ることは全ての人々の願いです。「富山県ナースセンター」や「富山県健康・福祉人材センター」では、こうした「健康・福祉社会」の実現に寄与するため、様々な事業を展開して、マンパワー対策に取り組んでいます。

健康・福祉人材の就労斡せんのフローチャート図



ナースセンター

平成四年四月、国は、老人訪問看護制度をスタートさせました。

この制度は、介護を要する老人が、住み慣れた地域社会や家庭で療養生活を送れるように、「老人訪問看護ステーション」を各地域に設置して、配置された看護婦等がかかりつけの医師の指示に基づいて家庭を訪問し、看護サービスを提供しようとするものです。

この制度の支援や病院・診療所の一部にみられる看護職員不足に対応するため、昨年十一月二十七日、富山県の県看護協会内に従来のナースバンクを改組した県



ナースセンターを設置し、看護職員の確保・養成に向けて次の事業を進めています。

1 就労・促進(登録・就業斡せん)事業

- ・現在、仕事に就いていない潜在看護職員を掘り起こし、ナースバンクへの登録や就業を斡せんしています。
- ・ナースセンターの職員を県内各地域に派遣し、職業安定所やデパートの一角を利用した再就業相談を実施しています。
- ・潜在看護職員の職場復帰のために「最近の医療内容と看護業務」などの講習を通して知識と技術の再開発を行っています。
- ・公共職業安定所等、関係機関との情報交換や連携に努めています。
- ・五月十二日の「看護の日」を中心に高校生等を対象とした看護体験や進路相談を実施し、また、パンフレットやビデオを利用したPR活動で看護の心を啓発しています。

2 訪問看護支援事業

- ・訪問看護婦や在宅療養者等からの相談を受け付けています。
- ・訪問看護においては、正確な判断に基づいた質の高い看護技術が求められるため、その養成を目的とした講習会を開催しています。
- ・実際に役立つ看護内容を図解で説明し、温もりのある手引書として平成四年三月に発行された「訪問看護マニュアル」の活用を図っています。

- 就労促進に関する事項
 - * 登録事業・就業相談
 - * 公共職業安定所との連携強化
 - * 再就業移動相談
 - * 看護力再開発講習会
- 訪問看護支援に関する事項
 - * 訪問看護婦養成講習会
 - * 訪問看護相談事業
 - * 訪問看護実態調査
 - * 訪問看護婦等の定着事業
(訪問看護マニュアルの活用)
- PRに関する事項
 - * 「看護の日」及び「看護週間」等のPR事業
 - * 高校生の一日看護見学及び進路相談指導
 - * マスコミ等広報活動

富山県ナースセンター

健康・福祉人材センター

主に福祉関係業務に従事する健康・福祉マンパワーの方々を対象に、平成三年度からスタートした「富山県健康・福祉人材センター」(県社会福祉協議会内)では、次の事業を行っています。

1 人材バンク (人材確保)

昨年の十二月に国の許可を受け、新たに設置・運営することになった福祉人材バンク事業では、登録された方を次の職場に就業できるよう人材を必要とする施設・機関・団体に無料で紹介・斡せんを行っています。

職 場	職 種
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護施設 ・ 老人福祉施設 ・ 身体障害者更生援護施設 ・ 精神薄弱者援護施設 ・ 児童福祉施設 ・ 精神障害者社会復帰施設 ・ その他の社会福祉施設 	療法士(理学・作業)、視能訓練士、言語治療士、社会福祉事業専門職員(相談・指導専門員、ケースワーカー、心理判定員、社会福祉施設指導介護員・生活指導員・寮母(父)等)、心身障害児施設保母(父)、ホームヘルパーなど

『ナースバンクを利用して再就職』



木本はるみさん
厚生連滑川病院 助産婦

「Uターンで富山に帰って来たのですが、再就職が決まるまでは大変でした。昨年二月から厚生連滑川病院で助産婦として活躍している木本さんは、働き盛りの四十二歳です。夫の仕事の関係で東京へ転居しました。ずっと助産婦の仕事に携わっていました。自分の性格に合っていたんですね。そんな折、木本さんは夫を病気で亡くし、失意の中、富山へ戻ることに。当面の問題は新たな職を見つけることでした。長年やってきた助産婦の仕事が続けようと思いついた。自分なりに探してみましたが、思うようにならなくて。途方に暮れ、他の仕事も考えていた矢先、友人からナースバンクの存在を教えてもらってすぐに登録。手続きは思ったより簡単でした。本当に大丈夫かなと最初は半信半疑でしたが、そのうちに連絡がはいり、現在の職場を紹介していただきました。」

赤ちゃんやその母親の笑顔を見ていると心がなごむ

2 健康・福祉講座・研修 (人材養成)

健康・福祉のマンパワーの活用を図るため県内各地で地域の社会福祉協議会等と連携をとり次の講座や養成研修を開催しています。

(1) 福祉入門教室

健康・福祉サービスに関心のある方や、要介護者を抱える方などを対象に、福祉ふれあい教室や、くらしに活かす介護教室などを開催しています。



▲在宅介護教室

(2) 健康・福祉マンパワー養成研修

福祉施設などで働いた経験のある方を対象に、再就業の促進や、資質の向上を図るため介護福祉士研修や施設職員研修、ホームヘルパー研修などを通して、専門的な知識や技能を高める学習を行っています。

『潜在マンパワーを福祉の職場へ』



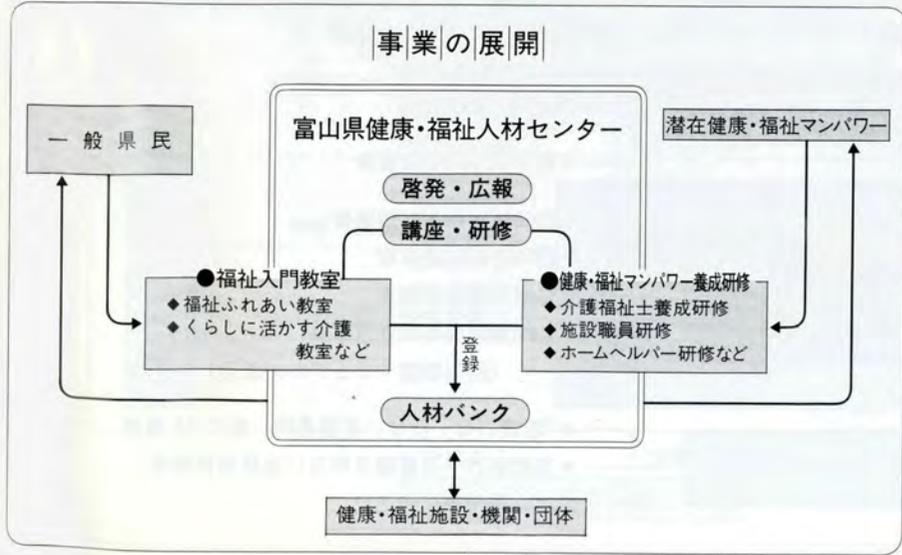
田子 哲さん
富山県健康・福祉人材センター 所長

「県民一人ひとりが、福祉に関心を持ち、知識を高める自分の周囲から実践していく。そしてこの中からさらに福祉に従事する専門職が育っていく。このような環境づくりに取組んでいきたいですね。」と田子所長。このセンターでは、過去一年間、講座や研修を通して、地域福祉への理解と新たな福祉の担い手発掘をめ

という木本さん。自分の望んでいた仕事に再び従事できたことが大変嬉しかったといいます。再就職希望者に対しては、「個人でできる就職活動には、やはり限度があります。情報の提供や就職の斡せんを親身になってしてくれたナースバンクのような機関をうまく活用して、自分にあつたやりがいのある仕事を見つけてもらいたいですね。」取材後、患者さんの昼食を用意するため、元氣よく部屋を飛び出していった木本さん。ここにも一つのマンパワーが輝いています。

3 啓発・広報

県内の公民館や福祉会館等へパンフレット、ポスターをそれぞれ二千部配布し、また、県外者に対しては、リクルート誌への広告などを通して、健康・福祉サービスについての理解と関心を高め、社会福祉への就労を促進するよう啓発・広報を行っています。



「去年の十二月からは、人材バンクも運営し、求職者と健康・福祉の現場との橋渡しを行っています。まだスタートしたばかりですが、地道な広報活動のおかげで、徐々に登録される方が増えてきています。結婚などのために退職したが、再び福祉に携わりたいという方や県外からの転職希望の方は、これからは積極的に人材バンクを利用してください。登録者のために、求人求職情報誌を発行することも検討中とのこと。『公共職業安定所やナースセンターと連携を図り、一人でも多くの潜在マンパワーを福祉の職場に送り出せるよう努めたいですね。』と今後の抱負を語ってくれました。」

■富山県ナースセンター

富山市鶴島川原1907の1
富山県看護協会内
TEL (0764) 33-5680

■富山県健康・福祉人材センター

富山市舟橋南町5の14
富山県社会福祉会館2階
TEL (0764) 32-2940

お気軽にご相談ください

県立中央病院では、本年4月
から患者さんのご希望により、
院外処方せんを発行します。

中央病院前にある富山県薬剤師会医薬
分業推進センターのほか薬局マップに
載っている薬局で薬が受け取れます。

院外処方せんの発行診療科は、内科の
一部、和漢、泌尿器科、耳鼻いんこう
科です。



院外処方せんを
ご希望されるときは……

院外処方せんをご希望される方は、
その旨を医師にお伝えください。ただ
し、薬の種類により発行できない場合
があります。

●院外処方せんをもらうと若干費用の
負担があります。

ただし70才以上の方、公費負担医療
の方は従来と変わりません。

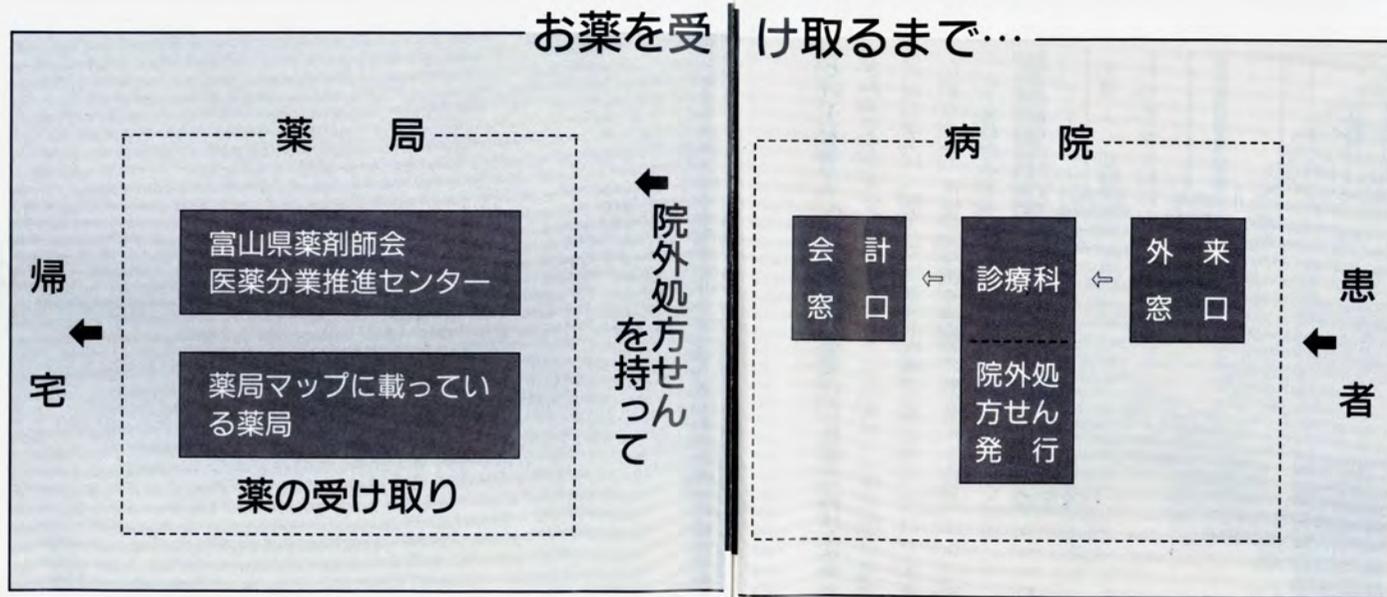
●中央病院内に「院外処方せんのご案内
コーナー」を設置し、患者さんか
らのご質問等にお答えします。

※院外処方せんの発行は、今後、内科の一
部、和漢、泌尿器科、耳鼻いんこう科の
ほか、他の診療科でも実施していく予定
です。

詳しくは、県立中央病院薬剤部、富山県薬剤師会または
富山県厚生部薬務課までお問い合わせ下さい。

県立中央病院薬剤部 ☎0764-24-1531(内)2656
富山県薬剤師会 ☎0764-32-2577
富山県厚生部薬務課 ☎0764-44-3234(直通)

トピックス
県立中央病院
4月より
院外処方せん発行



薬のお受取りは……

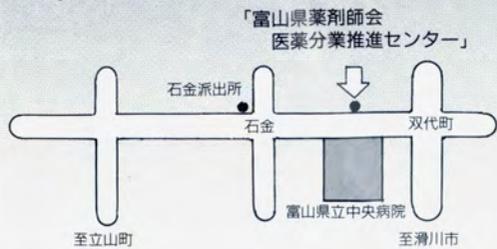
院外処方せんをもらったなら、県立中
央病院前の富山県薬剤師会医薬分業推
進センター、または薬局マップに載っ
ている薬局へ行き、院外処方せんを出
して、薬を受け取って下さい。

●薬局では、適切な服薬指導をするた
めに、アレルギーの有無、他に服用
している薬等をお聞きすることがあ
ります。



富山県薬剤師会医薬分業推進センター

センターでは、患者さんの持参され
た院外処方せんに基づき、調剤して薬
をお渡しするほか、県民、薬局などか
らの求めに応じて医薬情報を提供しま
す。



春の予感

(八尾町小井波の水芭蕉)

さらさらと風はやさしく

ほろほろと光は温かく

移ろう季節にとまどいながら

春の微笑に誘われ

静かな野辺に

清なる花穂が色添える

PIN UP TOYAMA



撮影／赤羽仁諭

砂防課

三方を急峻な山に囲まれ、多くの急流な河川を持つ富山県。昔から大雨による土石流やがけ崩れ等により、多くの人命や財産等が奪われてきました。県内には現在も大きな災害をもたらす恐れのある数多くの危険箇所があります。砂防課は、土砂災害の発生を未然に防ぎ、私たちの生活を守るためさまざまな事業を行っています。

自然と調和のとれた 県土の保全をめざして

台風や梅雨の時期には、豪雨のため各地で土石流やがけ崩れなどが発生し、人家や道路、田畑が押し流されたり、土砂で埋めつくされたりする災害が起こっているのをよく耳にします。

こうした土砂災害の発生を未然に防いでいるのが砂防課の仕事なのです。今回はその内容を紹介します。



高坂雄二土木部参事(砂防課長)

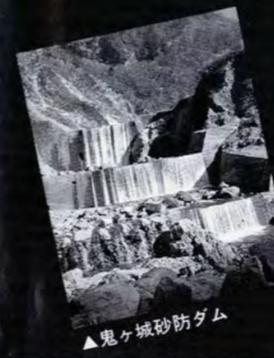
「砂防事業」の役割

砂防課の事業には、主に「砂防事業」「地すべり対策事業」「急傾斜地崩壊対策事業」があげられます。

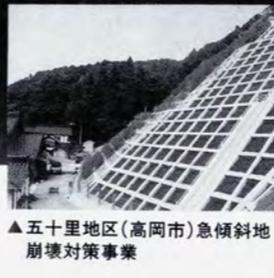
山地から下流へ流れ災害など私たちの生活に被害をおよぼす土砂を「有害土砂」と呼ぶのですが、砂防ダムや護岸等を作ることによって、これらが人の生活の場に入ってくる前に止めてしまうのが「砂防」の役割なのです。また、砂防ダムには、有害な土砂を無害な状態で下流に流し、河道を維持する機能もあるそうです。急流河川が多い富山県では、こうした砂防工事が欠かせないものとなっています。

地すべりは、大地の一部が斜面に沿って滑り降りる現象で、雨や雪解けで弱い地盤の斜面にたくさん水がしみ込むことや、地震などが原因で起こります。県内でも昭和三十九年に氷見市の胡桃地区で八十七戸が倒壊するという大規模な地すべりが発生しました。こうした災害を未然に防ぎ、県土の保全を図るため、地表水や地下水排除工、抑止工としての杭工、棒工などの防止工事が続けられています。また、氷見市論田・熊無地区では、防止工事の跡地にテニスコートやフィールドアスレチックなどが設置されました。こうした地域に貢献する施設の整備は、これからも積極的に進めていくそうです。

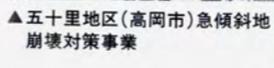
「急傾斜地崩壊対策事業」は、がけ崩れによる災害を防止する事業です。がけ崩れは、前兆なしに突発的に発生し、多くの人命が奪われるなど大きな被害を出します。それを防ぐため、擁壁工や法枠工などの工事が続けられているそうです。



▲鬼ヶ城砂防ダム



▼国見地区(氷見市)地すべり対策事業



▲五十里地区(高岡市)急傾斜地崩壊対策事業

立山カルデラ砂防 総合展示施設構想



〈立山カルデラ全景〉



▲白岩砂防ダム

常願寺川と黒部川では国の直轄砂防事業が行われています。特に常願寺川上流の立山カルデラで行われている立山砂防工事は、日本有数の大規模な工事で、八十年以上も続けられています。立山砂防の現場では、夏季期間に一般見学会が開かれています。より多くの人に富山平野を守る砂防事業の意義を理解してもらうため、屋内博物館とカルデラの現地や砂防ダム群などの野外ゾーンから構成される「立山カルデラ砂防総合展示施設」計画が進められているそうです。これが実現すれば、砂防事業の大切さが広く皆さんにも実感できるでしょう。

レポーター…原 恵子 (ミス七夕)



「自然景観と調和のとれた施設整備」

砂防関係事業では、二十一世紀に向けて、自然の生態系や景観に配慮し、これらと調和のとれた施設整備が求められているそうです。私は、実際にそうした整備事業が行われた黒部川支流の宇奈月谷を見学させていただきました。ここでは、砂防ダムが宇奈月温泉を災害から守っているだけでなく、潤いある景観を創り出しています。護岸や河床の整備にあたっては自然環境に配慮され、また、遊歩道やバーベキュー広場もあり、観光地にふさわしい魅力ある場所となっているのです。私が訪れた時は雪で覆われていましたが、春から秋にかけては、川で遊んでいる子供達や散策を楽しむ

▼宇奈月谷水と緑の砂防モデル事業



入善土木事務所の山本砂防班長に説明を伺う▶

今回、砂防課でお話を伺って、今まで何気なく見過ごしていたところに、災害を未然に防ぎ、私たちの生活を守る重要な工事が施されていたことを知りました。私たちの生活環境を根底から守ってくれている砂防事業の重要性をもっと皆さんにも知ってほしいと思いました。

ふるさと みてある記 八尾町



▲おわら資料館



▲おわらのポスター

小川千穂の模絵▶

おわらの歴史が 感じられます

おわら資料館

「音楽家・高階哲雄が初めておわらを採譜した譜面や、舞踊家・若柳吉三郎が描いた女踊りの振付けの図など、おわらの歴史上重要な資料が残されています」と語るのはおわら資料館の館長吉田収三さん。



▲高階哲雄の採譜の図

「川崎さんの奥さんが亡くなって、多くの貴重な資料が町外へ散逸しようとしていた時、保存運動が起ったんです。その後、町が資料・建物を購入し、おわら保存会が管理することになったという。はじめは風の盆の時期だけ一般公開されていたが、昨年から、四月から十一月までの毎週土、日曜日にも開館している。昨年だけで、千人以上の人がここを訪れたという。」

「川崎さんと交流のあった小杉放庵、小川千穂など多くの文人墨客の書簡、額も数多く残されています。これらの貴重な資料を後世に伝えていきたいですね。」

おわら資料館は、おわらをこよなく愛する人々にとってかけがえのない場所となっている。

「八尾の家」と言えるのはどんな家なのかということは何度も話合いましたね。」と語るのは「八匠」の会長の石原さん。八匠は、八尾町の持つ歴史・風土・文化などの豊かな環境を活かした住宅づくりを目指す「八尾H O P E計画」(八尾町地域住宅計画)から生まれたグループで、現在は町内の工務店・設計事務所八社で構成されている。

「八尾の家は、白壁、板張り、腕木造などの伝統の技を活かした純和風建築なんです」と石原さん。整

然と組まれた梁がとても美しく、地元の腕自慢の職人の高度な技術が駆使されているという。

「実際に住んでいる人は、この家に決めて良かったと言ってくれますね。木の持つ温かさが伝わってくるだけではなく、現在生活にあった工夫が至るところに施されているからだろう。」

「おわりに似合う家作りが理想です」八匠の皆さんがつくる町並みは八尾をこれまで以上に魅力ある街にしてくれるだろう。

タラの芽は山里から吹く「春の風」

野積地区・タラの芽ふかし栽培



芽の様子をみている生産農家の上田さん



▲タラの木



▶タラの芽

「てんぷらやお浸しにして食べるととてもおいしいんです」と語るのには、タラの芽栽培を指導している八尾町農協の山崎さん。

昔から山菜の王者と呼ばれ珍重されてきたタラの芽が、転作物として野積地区に導入されたのが三年前。この辺りの田んぼは日当たりと水はけがよく、タラの木の栽

「風格がにじみ出る 八尾の家」 建築グループ「八匠」

井田川を挟んだ旧町の対岸に、白壁の堂々とした木造の家が建ち並んでいる。そこが「八尾の家」づくりが進められている「ウッドタウン八尾上野かざみ台」である。



▲八尾の家の内部

▲ウッドタウン八尾の家並み



▲「八匠」会長 石原 博さん



培に適合しているため、すでに北陸有数の産地となっているという。ここでは、ふかし促成と呼ばれる温室栽培により、本来春の山菜であるタラの芽を一月から三月の冬の間に出荷している。

ここで栽培されているタラの木は、普通は一つしか出ない芽が、突然変異によって何本も出る。その出芽した部分を温床に挿木して、芽を育てるのである。「タラの芽栽培はまだよくわからない面が多いです。冬場、異常に温かくなると全滅することもあるという。最近では暖冬傾向なので特に温度管理には気を付けているようだ。」

「将来は、八尾の代表的な特産品にしたいですね。」野積のタラの芽が、八尾の山里から吹く「春の風」として広く皆さんの食卓に届くようになる日もそう遠くないだろう。

八尾町の概要

人口 二二、四七七人(一月一日現在、
面積 二二五・四二㎓ (県人口統計調査より)

「おわら風の盆」や「曳山祭」が聞名寺の門前町として開けた八尾の風情を一層際立たせている。

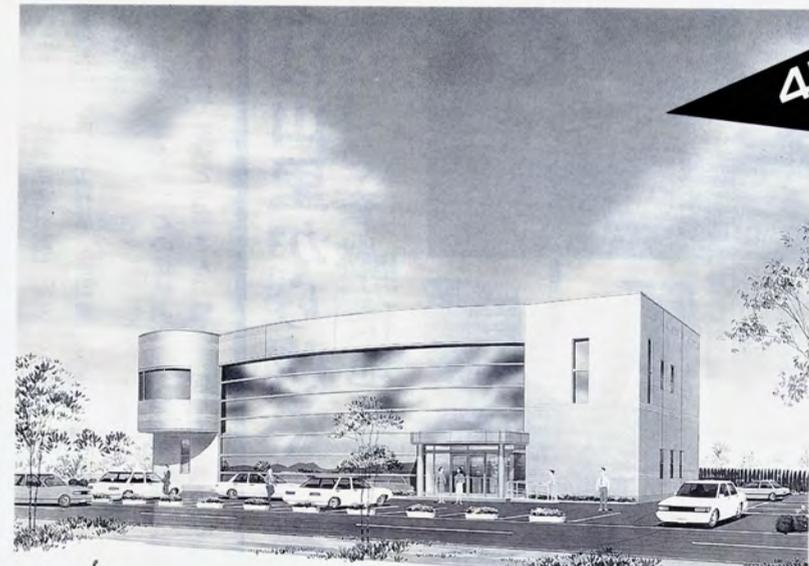
また富山八尾中核工業団地の本格操業に伴い、ハイテク産業の若者たちが活気あふれており、伝統文化と先端技術が調和するアメニティな町づくりが進んでいる。



健康保険の手続きや年金の相談が身近に！

砺波社会保険事務所新設

4月1日
オープン



完成予想図

- *業務内容 健康保険（日雇特例も含む）の加入、脱退
給付金の請求・支払
厚生年金・国民年金の各種請求書の受付
年金相談
- *管轄区域 砺波市・小矢部市・城端町・平村・上平村
利賀村・庄川町・井波町・井口村・福野町
福光町・福岡町
- *所在地 〒939-13
砺波市太郎丸41-5
- *電話 0763-33-1165
- *交通手段
 - ・JR城端線砺波駅下車徒歩12分
 - ・加越能バス高岡庄川線
 - ・砺波中央自動車学校前下車徒歩2分



家出少年の発見と 暴力団等からの保護

桜のつぼみもふくらみ始め、もうすぐ少年達の人生の節目である卒業・進学・就職の季節を迎えます。進路が決まった気のゆるみや解放感から、夜遊び、家出などの不良行為少年が増加し、暴力団等と知り合う機会が多くなるのもこの時期です。

非行に陥りそうな少年や暴力団等に引き込まれそうな少年には、ひと声掛けたり関係機関に連絡するなど早めの手当てがぜひ必要です。富山県の将来を担う少年達を健やかに育てるため、みんなで力を合わせて少年の非行を防ぎましょう。

少年の非行などの相談や連絡は、最寄りの警察署の防犯係または、警察のヤングテレホンコーナーへどうぞ。



ヤングテレホン番号

富山局

☎(0764) 41-15057

高岡局

☎(0766) 24-4157



銃砲・火薬類の不正流出の防止

- 銃砲・火薬類は、有害鳥獣駆除や土木工事などに広く活用されています。その取扱いを誤ると、県民生活に大きな不安を与えることとなりますので銃砲・火薬類を取扱う方々は、次の点に注意して、不正流出の防止に努めて下さい。
- 一、銃と弾は別々の保管庫に保管し、確実に施錠して下さい。
- 二、ガンロッカー及び火薬庫等の保管設備、施錠設備、警報装置は、定期駐在所
- 三、火薬類の貯蔵量は、必要最小限度とし、常に把握しておいて下さい。
- 四、火薬類の取扱いは、保安責任者の監督のもとに行なって下さい。
- 五、万が一、銃砲や火薬類を盗まれたり、紛失した時は、直ちに警察へ届け出て下さい。

春山は、寒暖の差が激しく、吹雪に見舞われることも珍しくありません。

- 遭難事故を防ぐため、次のことに注意して下さい。
- 一、雪深・雪稜では、アイゼンを装着しビッケルを使用しましょう。
- 二、悪天候が予想されるときは行動を中止し、安全な所へ引き返しましょう。
- 三、山菜採りは、目印をつける等、道に迷わないようにし、転落・滑落に注意しましょう。

春の山岳遭難事故防止について

春の水難事故防止について

- 日増しに暖かくなり、水田に水を引くため用水等は増水しています。春先には水の事故が多く発生していますので、次のことに注意して水の事故を防ぎましょう。
- 一、用水付近での農作業は、転落しないよう十分気を付けましょう。
- 二、幼児を一人で、用水や池等の水辺で遊ばせないようにしましょう。

民謡春まつり

富山県教育文化会館ホール新装記念

郷土越中民謡を中心に全国津々浦々の唄と踊りを織り混ぜた「民謡春まつり」を日本郷土民謡協会北日本地区連合会7団体等の出演により華々しく開催いたします。県民の皆様方のご来場を心からお待ちしています。

日時 平成5年3月28日(日) 午前10時30分
 場所 富山県教育文化会館大ホール
 入場料 前売 1,800円
 当日 2,000円

問い合わせ
 富山県教育文化会館
 ☎0764-41-8635 (内線147)



志の輔倶楽部

県内外で活躍している立川志の輔の定期落語会「志の輔倶楽部」は早いものでこの3月で第4期を迎えました。会場となっている国際文化センター「オルビス」は寄席にも適しているのでしょうか、落ちついた雰囲気でも落語を楽しめるとお客様から好評をいただいています。また、立川志の輔の人情落語のほかに話題性に富んだトークや毎回バラエティーなゲストを迎えてのパフォーマンスは多くの志の輔ファンを魅了します。ぜひ、ご家族・ご友人をお誘い合わせのご来場をお待ちしています。

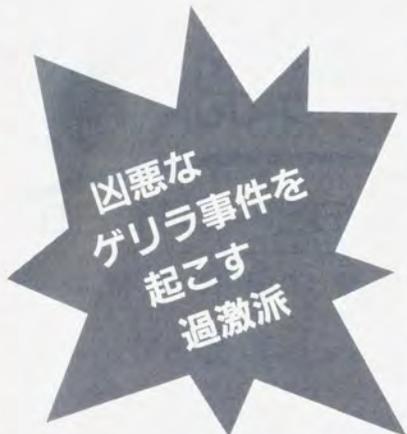


■日時 毎月第2金曜日 午後7時開演
 ■会場 富山県国際文化センター「オルビス」
 ■入場料 前売 2,500円(当日 2,800円) 全席自由
 ■問い合わせ 富山県国際文化センター ☎0764-45-4531

秘密部隊員

秘密アジトの

発見にご協力を!



過激派(極左暴力集団)は、自分達が理想とする社会を築くため、平穩に生活している市民を巻き込み、破壊的な活動を繰り返す暴力革命集団です(昨年のゲリラ件数は46件)。

善良な市民を装い、密かに爆発物を作っている過激派の秘密部隊員、秘密アジトを発見するため、「怪しい・変だな」と思ったら、どんな小さなことでもお近くの警察署・派出所に連絡してください。



警察署・派出所に連絡してください。県民の皆さんの御協力をお待ちしています。

空家・空室から夜間、明かりが漏れたり音がしている。

情報工房パソコン教室

受講者募集

楽しくわかりやすい初心者講習会です。

＜パソコン入門教室＞

- 内容 マッキントッシュの基礎操作
- 定員 毎回16名(定員になり次第締切)
- 受講料 無料
- 開催日 3月の毎週水曜日と金曜日のいずれも、午前、午後の2回
- 場所 富山県情報工房(富山市高田)
- 問合せ・申込み 富山県情報工房 ☎0764(44)7887

3月は納税強調月間です

県では、3月を「納税強調月間」として、税の仕組みや役割について、みなさんに御理解をいただくとともに、まだ納めていただけていない税金については、早急に納めていただくようお願いしています。

なお、県税について疑問やお困りのことがありましたら、お気軽に、最寄りの県税事務所へ御相談ください。

県税の納税窓口は

県内の銀行、信用金庫、農協、漁協、信用組合又は県税事務所まで納めてください。

●県税の所管区域図(平成4年4月1日現在)



県税の取扱い・相談は

県税についての相談や苦情がありましたら、お気軽に下記の県税事務所までご連絡下さい。

事務所等	所在地
富山県税事務所	富山市舟橋北町1-11 ☎(0764)41-2551
自動車税センター	富山市新庄町馬場39-6 ☎(0764)24-9211
高岡県税事務所	高岡市赤祖父211 ☎(0766)21-9411
魚津県税事務所	魚津市新宿10-7 ☎(0765)24-5311
砺波県税事務所	砺波市幸町1-7 ☎(0763)33-5151
富山県総務部税務課	富山市新総曲輪1-7 ☎(0764)31-4111

★国の税金は税務署へ
 市町村の税金は市役所または町村役場へ

県政の動き

平成5年1月11日～2月10日

- 1月12日 富山県中学校・高等学校スキー選手権大会
- 1月13日 第8回富山県農業者の集い
- 1月14日 「成人の日」記念優良青年等表彰式
- 1月15日 「福祉の店」10周年記念フェスタ
- 1月18日 富山県公文書館ミニ企画展「置県110年にみる富山県知事展(一)」(～2月18日)



雪美のひろば・スノーアートとやま'93 (～2月28日)



- 1月19日 スポーツ振興懇話会
- 1月22日 第46回富山県民体育大会冬季大会スキー競技会(～24日)
- 1月25日 富山県児童クラブ連合会結成30周年記念大会



- 1月26日 第5回2000年国体等懇話会
- 1月30日 全国身体障害者スキーフェスティバル(～31日)
- 1月31日 第1回富山県民スポーツレクリエーション祭冬季大会「雪のシンフォニー」
- 2月4日 省資源・省エネルギー運動富山県民大会
- 2月6日 「北方領土の日」記念講演会及び街頭キャンペーン



- 2月7日 第2回太閤山ランド冬の親子ふれあい大会
- 高松宮賜杯第43回中部日本スキー大会(～9日)

富山県埋蔵文化財センター

企画展「富山の石斧」

原始時代において、木の伐採や加工など、多用途に用いられた石の斧を中心に展示し、当時の人々の生活の様子を探ります。

■期間 平成5年5月28日(金)まで

■休館日 土曜日、日曜日、国民の祝日

■入館料 無料

※詳しくは、富山県埋蔵文化財センターへ
☎0764-34-2814

政治団体の 収支報告書の 提出について

政治団体の平成4年分収支報告書の提出期限は、平成5年3月31日です。

期限間近になると込み合いますので、提出はお早めに。

提出先
富山県選挙管理委員会
県庁地方課内(内線3344)

平成5年 4月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
3	土	JR富山駅前	10:00～16:00
10	土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
11	日	黒部市「メルシー」ショッピングセンター前	10:00～15:30
17	土	富山市富山西武デパート前	10:00～16:00
18	日	富山市富山西武デパート前	10:00～16:00
19	月	庄川町役場前	13:00～15:30
24	土	JR高岡駅前	10:00～15:30
26	月	大沢野町役場前	13:00～15:30
29	土	砺波市チューリップフェア会場(雨天中止)	10:00～15:30

※富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。
富山県赤十字血液センター 富山市飯野26-1 ☎(0764)51-5555

『美との対話'93』 開催

3月20日(土)～4月11日(日)

富山県立近代美術館

当館では昭和56年の開館以来、「国際・日本・郷土」の視点のもとに、20世紀美術をたどるにふさわしい様々なジャンルの優れた作品の収集に努めてきました。この「美との対話」展は、当館の収蔵作品のなかから、日頃展示する機会の少ない優れた作品を鑑賞していただくために開催している収蔵作品展です。

7回目を迎える今回のテーマは、「ルオーとシャガールの銅版画の世界、です。「ミゼレーレ」「バイブル」など、ルオーとシャガールの代表作約250点から、両巨匠の芸術世界を紹介します。

■観覧料 一般200(160) 高・大学生160(100) 小・中学生100(60) ()内は20人以上の団体

■休館日 月曜日・祝日の翌日

■開館時間 午前9時30分から午後5時まで
詳しくは ☎0764-21-7111番まで



県花チユールリップを出展

第2回ジャパンフラワーフェスティバル in OSAKA

花の普及を通して、うるおいのある社会の実現を図ることを目的とした第2回ジャパンフラワーフェスティバルが、開催されます。

■期間 平成5年3月26日(金)～28日(日)

■場 所 大阪・花博記念公園鶴見緑地(大阪市鶴見区緑地公園)

■入場料 1,000円

本県は県花チユールリップを中心に、花と緑にあふれた美しい富山の春をイメージしたデザインで出展し、PRを行います。また、全国の道府県や花き関連産業からの花が一室に集うほか、花の即売や、シンポジウム、NHK趣味の園芸」等が開催される予定になっています。

■問い合わせ
県庁農産園芸課
☎0764-31-4111



表紙 撮影/滝川邦彦(日本写真家協会会員)
 表2 エッセイ/廣瀬 誠
 P1 ひと/小西 謙造
 P2 クロースアップ

① 第5回二〇〇〇年国体等懇話会
 ② 第1回県民スポーツ・レクリエーション祭冬季大会
 ③ 省資源・省エネルギー運動富山県民大会
 ④ 第3回花と緑の冬のフェスティバル

特集/健康・福祉を支えるマンパ
 ワー対策

P10 トビックス/医薬分業

P12 PIN UP TOYAMA
 撮影/赤羽 仁諭

P14 県庁探訪/砂防課

P16 ふるさとみである記/八尾町
 県からのお知らせ

〇二月六日、牛岳温泉スキー場において、牛岳スノーフェスタ93が開かれました。

この日は、朝から天候に恵まれた絶好のスキー日和。大勢のスキー客で賑わうなか、白雪姫コンテストや大鍋味まつり、大花火大会などが行われ、訪れた人たちは楽しい一日を満喫していました。



みなさんの相談窓口

交通事故については
 富山県交通事故相談所東列館1階
 ☎(0764)31-4111内4400

相談110番
 家庭問題・悪質商法・冤せい剤など、どんな相談にも応じます。
 ☎(0764)42-0110

シルバー110番
 高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
 富山市舟橋南町5-14
 社会福祉会館内
 ☎(0764)41-4110

消費生活については
 消費生活センター
 富山市安住町7-18
 安住町第一生命ビル内
 (一般相談は)
 ☎(0764)32-9233
 (金融相談は)
 ☎(0764)33-3252
 消費生活センター高岡支所
 高岡市本丸町7-1
 本丸会館内
 ☎(0766)25-2777

県政については

県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
 ☎(0764)31-4111代
 31-3131(県民相談電話)

高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
 ☎(0766)21-9411代

魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
 ☎(0765)24-5311代

砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
 ☎(0763)33-5151代

物価ダイヤル

物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
 ☎(0120)16-7400 (県庁県民生活課内)

県からのホットニュース、見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

<p>テレビ広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45 「志の輔のふるさとトーク」 ●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス・イン」 ●北日本放送 毎週日曜日AM11:00~11:30 「こんにちは富山県です」 <p>3/7 華麗に、そして力強く 3/14 活性化する富山県林業 3/21 魅力あるふるさとづくり 3/28 平成5年度予算がスタートします</p>	<p>ラジオ広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●FMとやま 「ふれあいホットライン」 <p>県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。 毎週月~金曜日 AM9:40~9:45</p>	<p>新聞広報 NEWS PAPER</p> <ul style="list-style-type: none"> ●北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日 <p>毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」</p>
---	---	---

編集後記

⑤雪のシンフォニーの取材。肌寒い日にもかかわらず、元気に広場を駆け回る子ども達の姿が印象的でした。その生き生きとした表情を張り切って撮影していたのですが、やがて鼻水が出てくるようになります。頭の中をよぎるのは、「こたつで丸くなりたい」という思いばかり。最後にはすっかり若さを失っていた私でした。(K)

⑥インフルエンザが猛威をふるったこの冬、御多分に漏れず風邪をひいてしまった私。ここ数日間、書いた文字数より丸めたティッシュの数が圧倒的に多くなってしまった。(A)

⑦長い間ご好評いただきました県庁探訪のコーナーが今月号で終了いたします。登場していただいたミスの方々、ご愛読くださいました皆様ありがとうございます。来月号からの新企画にご期待ください。(M)



今話題の魚

河豚は食いたし命は惜しし
 〈ソノ味死ニ値ス〉

「雪の河豚 万魚の上に立たんとす」
 河豚は、布久・布久閉(古名)で、鮎・鮎・鮎・鮎とも書かれる。

「河豚喰えばわが身の終り名護屋ぶぐ」
 で、てっぼう(当ると死ぬの意、てっさ・てっちり)とか、かんば(棺桶)などとも呼ばれる。

「恐ろしきものの喰いたや雪の空で、河豚は寒い季節がうまい。従って中毒は一〜三月に多く、産卵前の卵巣の成熟期と一致する。『世の中や月に村雲ふくに毒』。また「ふく通といわれる馬鹿は肝を食い」というように、フグ毒、テトロドトキシンが多いのは卵巣・肝臓で、精巢(白子)・皮に多少、肉に毒はない。「ふく喰いし人の寝言の念佛哉」中毒は、食後三時間位しておこる。舌がもつれ血圧が低下し、息が止まって死の転帰となる。特效薬はない——(一日半位で毒は排出、この間の呼吸の確保が第一)人工呼吸器の進歩と行政的取締りで中毒死は減少したが、美味といっても肝は危険、肝に銘じよう。

〇なぜ、ふくれるのか……ふくらんで漂流する説、敵を威嚇する説、補助呼吸器や餌を求めるために口から水を吹く説。フグ科の特徴は、くちばし状の顎歯・

まぶた状の眼瞼と胃の下面に膨脹囊をもっていること。水や空気が、鰓に入ってくるのでなく、胃袋がふくれる。

胃の入口と腸への出口に括約筋があり、水や空気を出す時は肛門からではなく、口から吐く。

〇「ふく」か「ぶぐ」か……吹く・脹れるで、中部以西はふく、富山でもふく(でべ)である。関東ではぶぐと濁り、学術上もぶぐ。

〇「河豚」と書くのは……古来、中国では特産のメフグを賞味珍重する。メフグは、春、産卵のため海から「河」を上流まで遡る。この頃が中国ぶぐ料理の旬である。「豚」は形や発音が似、豚肉に似た味からであろう。

なお、日本産のフグは、河口に來ても遡上しない。

〇何故、カナフグを……河豚の代表なら大黒紋付のトラフグ(ホンフグ65cm)を挙げるべきだが、歳末に金沢名物の「ふぐの粕漬」を頂き、先日、生きているカナフグ(ゲジョフグ65cm)を入手したので、そのスケッチを載せることにした。粕漬にするのは、能登産のサバフグ・ゴマフグとカナフグである。



〈カナフグ〉

春の火災予防運動

点検を重ねて築く“火災ゼロ”



点検を重ねて築く
“火災ゼロ”

消防庁/監製日本損害保険協会

火の用心 **7** つのポイント

1. 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
2. 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
3. 風の強いときは、たき火をしない。
4. 天ぶらを揚げるときは、その場をはなれない。
5. 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
6. ふろの空だきをしない。
7. ストープには、燃えやすいものを近づけない。

長い冬も終わり、春の気配が感じられるようになってきました。春は、空気が乾燥しているだけでなく、風の強い日も多いため、タバコの投げ捨てなどによって一度出火すると、おもわぬ大火災をもたらします。

このような火災の発生しやすい時季を迎え、3月20日から26日まで県内各消防本部(署)を中心に春の火災予防運動を実施します。

家庭でも防火の徹底や消火の備えをもう一度確認して、火災発生ゼロをいっしょにめざしましょう。